

浦添警察署協議会 議事概要

開催年月日 令和2年2月19日（水）17:00～18:30

開催場所 浦添警察署

出席者

協議会委員（9名） 玉那覇 隆子、近藤 哲司、宮里 時子、仲里 恵子
桃原 美雪、平良 幸生、仲松 政治、上原 陸人
金城 康治郎

警察署（14名） 署長、副署長、刑事官、各課長等

議事概要

- 1 警察署長挨拶
- 2 管内概況説明
- 3 協議事項

(1) 少年非行について

委員：福祉犯罪が増加しているとの説明を受けたが、犯罪の内容と抑止対策について教えてもらいたい。

警察：スマートフォンの普及により、少年が出会い系サイトを利用することで児童買春や児童ポルノなどの福祉犯罪に巻き込まれる事件が発生している。

少年が被害に遭わない対策として、学校と連携し防犯講話・防犯教室を開催して、インターネットの正しい使い方を指導している。

さらに、保護者対象として子供の使用するスマートフォンに有害サイトの閲覧・利用制限を掛けるフィルタリングを活用することについて説明し、犯罪に巻き込まれないよう指導を行っている。

委員：小学生による補導の内容について教えてもらいたい。

警察：万引き行為による補導がほとんどである。

また、一部の少年であるが再三補導されている状況もある。

委員：管内において少年が関与する知能犯罪について教えてもらいたい。

警察：主に無賃乗車で、タクシー料金を支払わず乗り逃げするものがあり、詐欺事件に該当する。

委員：少年の居場所づくりの三味線教室や農業体験は、子供たちにとって非常に良い取組であり、有り難く思っている。

このような取組は子供たちの励みになることから、今後も

も警察と連携しながら非行防止の対策を行いたい。

(2) 子供たちの見守り活動について

委員：児童が不審者に遭遇した際、小学校3年生以上は大声を出したり、逃げたりするなど即行動に移せると思うが、低学年には困難さがあると思う。

このことから低学年の下校時間帯が心配であるので、その時間帯の重点的な警察活動をお願いしたい。

警察：警察OBを通学路の見守り活動に起用する「スクールセーフティサポーター制度」は西原町で開始した。

さらに、本年2月26日（予定）に浦添市においても運用が開始される予定である。

今後とも警察OBを活用した下校時間帯の活動を実施したい。

また、「ホットスポットの見える化」（警察等の各機関が把握する声かけ事案発生場所などを危険度で色付けしたもの）に取り組んでいくこととしている。

下校時間帯の活動との相乗効果が期待できると思われる。

委員：登校時間帯においては、民生員も活動しているが警察OBの対応は非常に心強い。今後も警察と連携しながら活動を推進していきたい。

委員：不審者情報は、保護者にとって関心があるので、近隣の学校区を含めた不審者情報の発信をお願いしたい。

警察：現在、教育委員会に対し、各学校区及び警察の情報を集約して一元化し、情報発信することを調整している。

(3) 飲酒運転対策について

委員：朝と夜の時間帯別による検挙者数の比率を教えてください。

警察：時間帯別による検挙件数の詳細な資料が手元にないが、夜間の検挙数が多いのが現状である。

また、飲酒運転の取締りだけではなく、管内の各事業所等に対しても適正飲酒に関する説明を実施し、例えば「500ミリリットル缶を何本飲酒したら概ね何時間でアルコールが分解されるか」などを示しながら、飲酒運転や二日酔い運転の実態等を伝えている。

委員：二日酔いを含めた飲酒運転防止対策として、私の会社では午後10時以降の飲酒を控えるよう指導している。また、社員全員にアルコールチェッカーを渡しており、数値が上がる場合は、必ず休むことを指導するなど飲酒運転防止の対策を行っている。

警察：協議会委員の方々の飲酒運転防止対策の御協力について謝意を申し上げます。

警察からの重ねてのお願いであるが、体内にアルコールが残っている状態であれば、迷うことなく運転をしないことの指導をお願いしたい。

(4) 交通事故防止について

委員：建築現場やその近隣に工事関係車両が駐車しており、他の通行車両の妨げとなり大変危険な場合がある。指導してもらいたい。

警察：現場確認し、指導及び取締りを実施したい。

委員：高齢者の交通安全対策に関して、横断歩道の横断時における対策をお願いしたい。

警察：高齢者に対する交通安全対策を含め、交通安全に関する広報啓発活動及び各種施策について継続して実施していきたい。

以 上